

平成18年度

市民意識調査報告書

(概要版)

澁川市企画部企画課

第1章 調査概要

1. 調査目的

新渋川市の今後のまちづくりの基本となる「総合計画」の策定にあたり、市民が期待している市の将来像、まちづくりのあり方を探索し、市民の意向を計画策定に十分に反映していく基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 : 本市に居住する満18歳以上(昭和63年4月1日以前出生)の全住民から抽出
- (2) 抽出数 : 4,000件(地区の人口バランスに配慮するとともに、男女、年齢構成に偏りの無いよう抽出)

	人口	a人口 構成比	単純数 $4000 \times a$	b均等割数	c構成比割数 ($4000 - b$ 計) $\times a$	発送数 b+c
渋川地区	47,319	54.1%	2,166	180	1,581	1,761
伊香保地区	3,638	4.2%	167	180	122	302
小野上地区	2,106	2.4%	96	180	70	250
子持地区	12,119	13.9%	555	180	405	585
赤城地区	12,210	14.0%	559	180	408	588
北橋地区	10,004	11.4%	458	180	334	514
計	87,396	100.0%	4,000	1,080	2,920	4,000

- (3) 調査方法 : アンケート調査
- (4) 調査期間 : 平成18年7月15日(土)~平成18年7月31日(月)
- (5) 配布回収方法 : 郵送配布 郵送回収

3. 回収結果

回収内訳は下記の通りです。

- (1) 全体
回収票数(回収率) : 1,579票 (39.5%)

	A:人口 (人)	B:発送数 (件)	C:回答数 (件)	D:回答率 = $C \div B$ (%)
合計	87,396	4,000	1,579	39.5%
渋川地区	47,319	1,761	698	39.6%
伊香保地区	3,638	302	94	31.1%
小野上地区	2,106	250	116	46.4%
子持地区	12,119	585	249	42.6%
赤城地区	12,210	588	235	40.0%
北橋地区	10,004	514	183	35.6%
無回答			4	

(2) 属性別回収率

	18～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		無回答	合計	
渋川地区	76 305	24.9%	101 327	30.9%	92 266	34.6%	141 345	40.9%	147 267	55.1%	140 251	55.8%	1 -	698 1,761	39.6%
伊香保地区	5 33	15.2%	13 39	33.3%	8 43	18.6%	18 63	28.6%	25 73	34.2%	25 51	49.0%	0 -	94 302	31.1%
小野上地区	12 45	26.7%	8 21	38.1%	15 34	44.1%	29 57	50.9%	17 39	43.6%	35 54	64.8%	0 -	116 250	46.4%
子持地区	24 97	24.7%	27 83	32.5%	36 93	38.7%	59 128	46.1%	58 106	54.7%	45 78	57.7%	0 -	249 585	42.6%
赤城地区	27 97	27.8%	15 69	21.7%	34 102	33.3%	60 127	47.2%	51 90	56.7%	48 103	46.6%	0 -	235 588	40.0%
北橋地区	19 102	18.6%	17 68	25.0%	34 94	36.2%	43 110	39.1%	38 70	54.3%	32 70	45.7%	0 -	183 514	35.6%
無回答	0 -		1 -		1 -		0 -		2 -		0 -		0 -	4 -	
合計	163 679	24.0%	182 607	30.0%	220 632	34.8%	350 830	42.2%	338 645	52.4%	325 607	53.5%	1 0	1,579 4,000	39.5%

回答数(件)	回答率
発送数(件)	(%)

4. 調査項目

本意向調査での調査項目については、下記の通りです。

【調査項目】

大区分	小区分	該当設問番号
はじめに、あなたご自身についておたずねします	性別 / 年齢 / 職業 / 居住地 / 居住年数	問 1 ～ 問 5
現在の施設やサービスについておたずねします	道路・公共交通機関など / 自然環境・生活環境 / 健康・福祉 / 教育・文化・スポーツ / 産業 / コミュニティなど	問 6
新しいまちの施策についておたずねします	重視すべき施策	問 7
市政との関わりについておたずねします	市政への関心 / 市政参加 / 市政情報	問 8 ～ 問 10
渋川市の将来像についておたずねします	希望するまちのイメージ / 新市の将来に期待するまちづくりの内容としてふさわしいキーワード(言葉) / 自由意見	問 11 ～ 問 13

注) 構成比率の表示について

回答数の構成比率は、全てパーセンテージ(%)表示とし、計算上、少数点第2位以下を四捨五入しているため合計欄が100%に満たない、あるいは超える場合があります。

また、設問の終わりに(複数回答)とある場合、1人の回答者の方が2つ以上の回答をしてもよいことから、比率の合計が100%にならない場合があります。

注) 前回調査との比較について

文中の「前回調査」は、合併前の平成16年1月に行われた「渋川地区市町村新市建設計画策定に関する住民意識調査」(以下:前回調査)と同様の設問となっているため、回答結果の比較を行っています。

第2章 調査結果概要

回答者属性について

50歳代以上で、当地に30年以上居住する方からの回答が高い

性別については、概ね同程度の回答割合であり、年齢階層別については、50歳代からの回答が多くなっています。居住地別では、人口バランスにあわせた配布数であることもあり、「渋川地区」が多くなっています。

いずれの地区も「30年以上」居住している方が最も多くなっています。職業については、各地区ともに「会社員」からの回答が多くなっていますが、伊香保地区では「自営業」「無職」が、小野上地区では「会社員」とともに「主婦(夫)」が多くなっています。

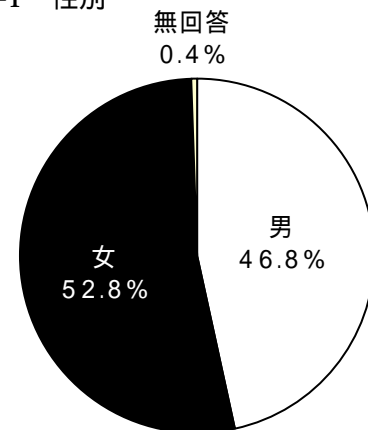
《性別》

「男性」が46.8%、「女性」が52.8%であり、「女性」の回答が多くなっています。

住民基本台帳値の性別比と比較すると、「女性」が2.7ポイント高く、「男性」は3.1ポイント低いことから、単純集計ではわずかに「女性」の意見が強く反映される傾向になります。

前回調査と比較すると、「女性」の回答が増加しています。

図1-1 性別



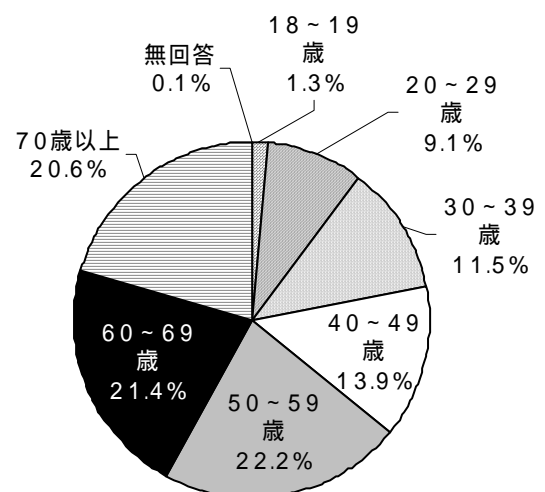
《年齢》

年齢は「50～59歳」の方の回答が最も多く22.2%となっています。

住民基本台帳値の年齢構成比と比較すると、「40歳代以下」が低く、「60歳代以上」が高いことから、単純集計では高年齢層の意見が強く反映される傾向になります。

前回調査と比較すると、「50歳以上」の回答が増加しています。

図2-1 年齢



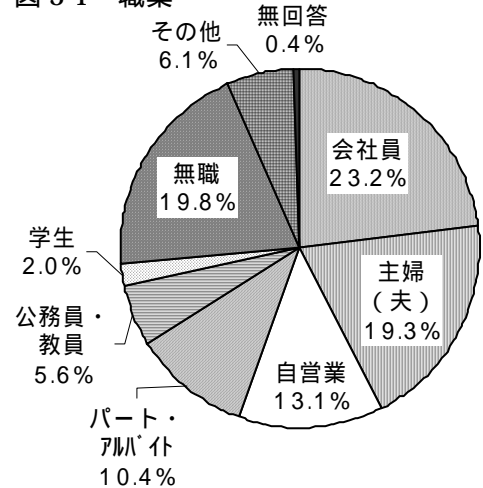
《職業》

「会社員」の方の回答が最も多く、23.2%となっています。

前回調査と比較すると、最も多いのは「会社員」で、わずかながら増加しています。また、「主婦(夫)」「無職」が増加しています。

前回調査とは一部選択肢が異なりました。

図 3-1 職業



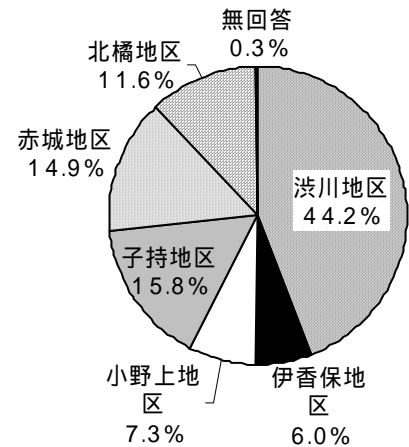
《居住地》

回答者の地区別割合は、「渋川地区」44.2%、「伊香保地区」6.0%、「小野上地区」7.3%、「子持地区」15.8%、「赤城地区」14.9%、「北橋地区」11.6%、「無回答」0.3%となっています。

配布数は地区で一定ではありません。p.1 参照
住民基本台帳値の地区別人口構成比と比較すると、「渋川地区」が低く、「伊香保地区」「小野上地区」「子持地区」が高いことから、単純集計では、わずかに「伊香保地区」「小野上地区」「子持地区」の意見が強く反映される傾向になります。

前回調査と比較すると「渋川地区」「北橋地区」で減少、その他の地区はいずれも増加しています。

図 4-1 地区別回答比率



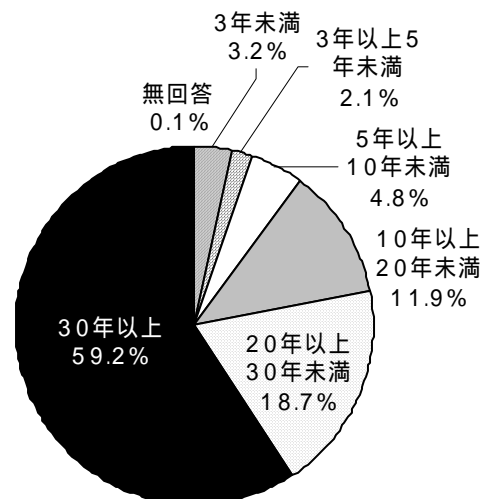
《居住年数》

居住年数についてみると、「30年以上」が最も多く、59.2%となっています。

前回調査と比較すると「30年以上」が増加しています。

前回調査では「5年未満」の選択肢

図 5-1 居住年数



現在の施策・サービスの満足度・不満足度について

自然環境・生活環境の分野、特に「ごみの収集・処理やリサイクル」の満足度が
高く、産業の分野、特に「商店街の活性化など商業の振興」の不満足度が高い

現在の施策やサービスの満足度については、分野別にみると、「ごみの収集・処理やリ
サイクル」「下水（生活排水）の処理状況」などの項目を含む「自然環境・生活環境」分
野の平均満足度が高くなっています。地区別についても、各地区ともに「自然環境・生活
環境」分野の平均満足度が高くなっています。

現在の施策やサービスの不満足度については、分野別にみると、「商店街の活性化など商
業の振興」「雇用や就業環境」などの項目を含む「産業」分野の平均不満足度が高くなっ
ています。地区別については、北橘地区で「道路・公共交通機関など」分野の平均不満足度
が高く、その他の地区では全体と同様「産業」分野の平均不満足度が高くなっています。

図 6-1 全項目一覧

	満足度			不満足度		
	満足	やや満足	普通	無回答	やや不満	不満
《道路・公共交通機関など》						
1 国・県道などの主要道路・幹線道路の整備状況	8.0	19.6	46.7	3.9	15.3	6.5
2 身近な生活道路の整備状況	5.8	12.4	37.7	4.2	26.5	13.4
3 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性	3.5	7.2	35.7	4.7	28.4	20.5
4 中心市街地の整備状況	2.4	6.8	43.1	7.0	26.3	14.4
5 公営住宅の整備状況	3.2	2.2	60.9	12.5	14.1	6.1
《自然環境・生活環境》						
6 街並みの美しさやゆとりある空間	3.2	12.7	49.4	6.8	21.0	7.0
7 川の水質や景観	3.3	13.7	48.6	6.2	19.9	8.2
8 公園・緑地や子どもの遊び場の整備状況	2.8	9.9	39.1	6.6	29.8	11.9
9 ごみの収集・処理やリサイクル	8.6	21.1	47.6	4.9	13.8	3.9
10 下水(生活排水)の処理状況	9.7	14.5	44.9	6.8	15.6	8.5
11 騒音、振動、悪臭などの公害環境対策	4.1	12.5	49.5	6.3	18.1	9.6
12 歩道整備やガードレールなどの交通安全対策	2.3	10.0	45.2	6.3	25.3	11.0
13 火災や災害からの安全性	1.8	10.2	58.6	6.3	16.4	6.7
14 防犯灯設置などの防犯対策	2.0	9.4	40.8	6.3	29.4	12.0
15 消費生活の安全性	1.7	7.9	62.1	6.8	16.7	5.0
《健康・福祉》						
16 健康診断などの保健活動や健康づくり	6.5	18.9	55.6	5.1	10.1	3.7
17 医療施設の数や夜間・休日などの救急医療体制	2.7	9.0	38.7	5.2	30.0	14.4
18 障害者のための施設やサービス	2.4	7.2	54.0	6.8	20.9	8.7
19 高齢者のための施設やサービス	2.7	9.1	49.9	5.7	23.8	8.8
20 子どものための施設やサービス	3.5	1.1	49.8	7.5	26.4	10.1
《教育・文化・スポーツ》						
21 幼稚園、小・中学校の施設	3.8	11.1	62.0	8.5	11.0	3.9
22 生涯学習施設や生涯学習講座への参加機会	2.0	7.4	63.8	8.6	14.8	3.4
23 スポーツに親しむ機会や施設	2.7	9.8	59.5	7.0	17.0	4.1
24 文化や芸術に親しむ機会や施設	2.6	7.5	59.3	8.0	18.2	4.4
25 青少年の健全育成への取り組み	1.9	5.6	64.3	7.5	16.1	4.5
《産業》						
26 営農支援の充実など農業の振興	4.0	2.0	62.6	10.2	16.8	4.9
27 新規企業の誘致など工業の振興	2.0	2.0	49.9	10.2	27.6	9.6
28 商店街の活性化など商業の振興	2.7	2.7	35.8	8.8	37.0	14.9
29 観光PRの展開など観光の振興	1.1	4.6	47.9	9.0	28.5	8.9
30 雇用や就業環境	1.1	1.1	43.8	11.1	29.4	13.9
《コミュニティなど》						
31 コミュニティ施設の整備状況や活動支援への取り組み	4.4	0.4	63.6	9.9	16.3	4.8
32 市民参加の行政や情報公開への取り組み	4.5	0.4	62.5	9.2	17.0	5.7
33 ボランティア活動などへの参加機会	5.7	1.0	65.5	9.2	15.1	3.2
34 男女共同参画によるまちづくりへの取り組み	3.4	0.4	64.3	10.3	16.5	4.6
35 国際化・国際交流への取り組み	3.9	0.4	61.6	11.2	17.7	4.9
36 インターネットなどを活用した各種サービスへの取り組み	2.7	0.4	59.1	11.8	19.6	6.3

前回調査と比較すると、満足している方の割合が多い項目は「ごみの収集・処理やりサイクル」「国・県道などの主要道路・幹線道路の整備状況」「健康診断などの保健活動や健康づくり」で、同様となっています。

不満に感じている方の割合については、「商店街の活性化など商業の振興」「鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性」が同様に多くなっており、その他「医療施設の数や夜間・休日などの救急医療体制」の割合が増加しています。

表 6-2 前回調査と今回調査の比較

道路・公共交通機関など	今回				分野平均	前回			
	満足度	順位	不満足度	順位		満足度	順位	不満足度	順位
1 国・県道などの主要道路・幹線道路の整備状況	27.6	2	21.8	24	満足度 14.4 不満足度 34.3	25.9	3	22.9	23
2 身近な生活道路の整備状況	18.2	5	39.9	8		18.8	7	36.9	9
3 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性	10.7	17	48.9	2		13.2	13	48.0	3
4 中心市街地の整備状況	9.2	22	40.7	7		9.3	21	33.7	12
5 公営住宅の整備状況	6.3	25	20.3	31		6.4	27	24.0	22
自然環境・生活環境	満足度	順位	不満足度	順位	分野平均	満足度	順位	不満足度	順位
6 街並みの美しさやゆとりある空間	15.8	8	28.0	16	満足度 16.1 不満足度 29.0	19.9	6	25.3	19
7 川の水質や景観	17.0	6	28.2	15		21.4	5	26.4	18
8 公園・緑地や子どもの遊び場の整備状況	12.7	10	41.7	5		14.6	11	38.6	8
9 ごみの収集・処理やりサイクル	29.7	1	17.7	34		27.7	2	16.8	33
10 下水(生活排水)の処理状況	24.2	4	24.1	19		24.1	4	25.0	20
11 騒音、振動、悪臭などの公害環境対策	16.6	7	27.7	17		18.0	8	27.8	15
12 歩道整備やガードレールなどの交通安全対策	12.2	12	36.2	12		12.4	15	35.5	11
13 火災や災害からの安全性	12.0	13	23.1	20		12.8	14	17.6	32
14 防犯灯設置などの防犯対策	11.5	16	41.4	6		11.8	18	46.2	4
15 消費生活の安全性	9.4	21	21.7	26		-	-	-	-
健康・福祉	満足度	順位	不満足度	順位	分野平均	満足度	順位	不満足度	順位
16 健康診断などの保健活動や健康づくり	25.5	3	13.8	36	満足度 12.9 不満足度 31.4	28.2	1	8.7	35
17 医療施設の数や夜間・休日などの救急医療体制	11.7	15	44.5	3		13.5	12	40.4	5
18 障害者のための施設やサービス	9.6	19	29.6	14		10.0	20	27.5	16
19 高齢者のための施設やサービス	11.8	14	32.6	13		12.3	16	27.9	14
20 子どものための施設やサービス	6.1	26	36.5	11		7.4	24	36.4	10
教育・文化・スポーツ	満足度	順位	不満足度	順位	分野平均	満足度	順位	不満足度	順位
21 幼稚園、小・中学校の施設	14.9	9	14.6	35	満足度 10.9 不満足度 19.4	17.8	9	13.3	34
22 生涯学習施設や生涯学習講座への参加機会	9.4	20	18.2	33		11.9	17	18.0	31
23 スポーツに親しむ機会や施設	12.5	11	21.1	28		14.9	10	20.6	27
24 文化や芸術に親しむ機会や施設	10.1	18	22.5	23		11.6	19	22.1	25
25 青少年の健全育成への取り組み	7.5	23	20.6	30		8.3	22	21.3	26
産業	満足度	順位	不満足度	順位	分野平均	満足度	順位	不満足度	順位
26 営農支援の充実など農業の振興	5.4	29	21.8	24	満足度 3.8 不満足度 38.4	6.2	28	18.6	30
27 新規企業の誘致など工業の振興	2.7	35	37.2	10		2.5	34	38.8	7
28 商店街の活性化など商業の振興	3.4	33	52.0	1		3.1	33	52.7	1
29 観光PRの展開など観光の振興	5.7	27	37.4	9		5.2	29	39.6	6
30 雇用や就業環境	1.7	36	43.3	4		2.1	35	51.3	2
コミュニティなど	満足度	順位	不満足度	順位	分野平均	満足度	順位	不満足度	順位
31 コミュニティ施設の整備状況や活動支援への取り組み	5.3	30	21.1	28	満足度 6.0 不満足度 26.3	7.0	25	20.2	28
32 市民参加の行政や情報公開への取り組み	5.5	28	22.7	21		7.8	23	24.1	21
33 ボランティア活動などへの参加機会	7.0	24	18.3	32		6.9	26	19.1	29
34 男女共同参画によるまちづくりへの取り組み	4.4	32	21.1	27		4.4	31	22.2	24
35 国際化・国際交流への取り組み	4.6	31	22.6	22		5.1	30	27.0	17
36 インターネットなどを活用した各種サービスへの取り組み	3.2	34	25.9	18		3.8	32	28.9	13

重視すべき施策について

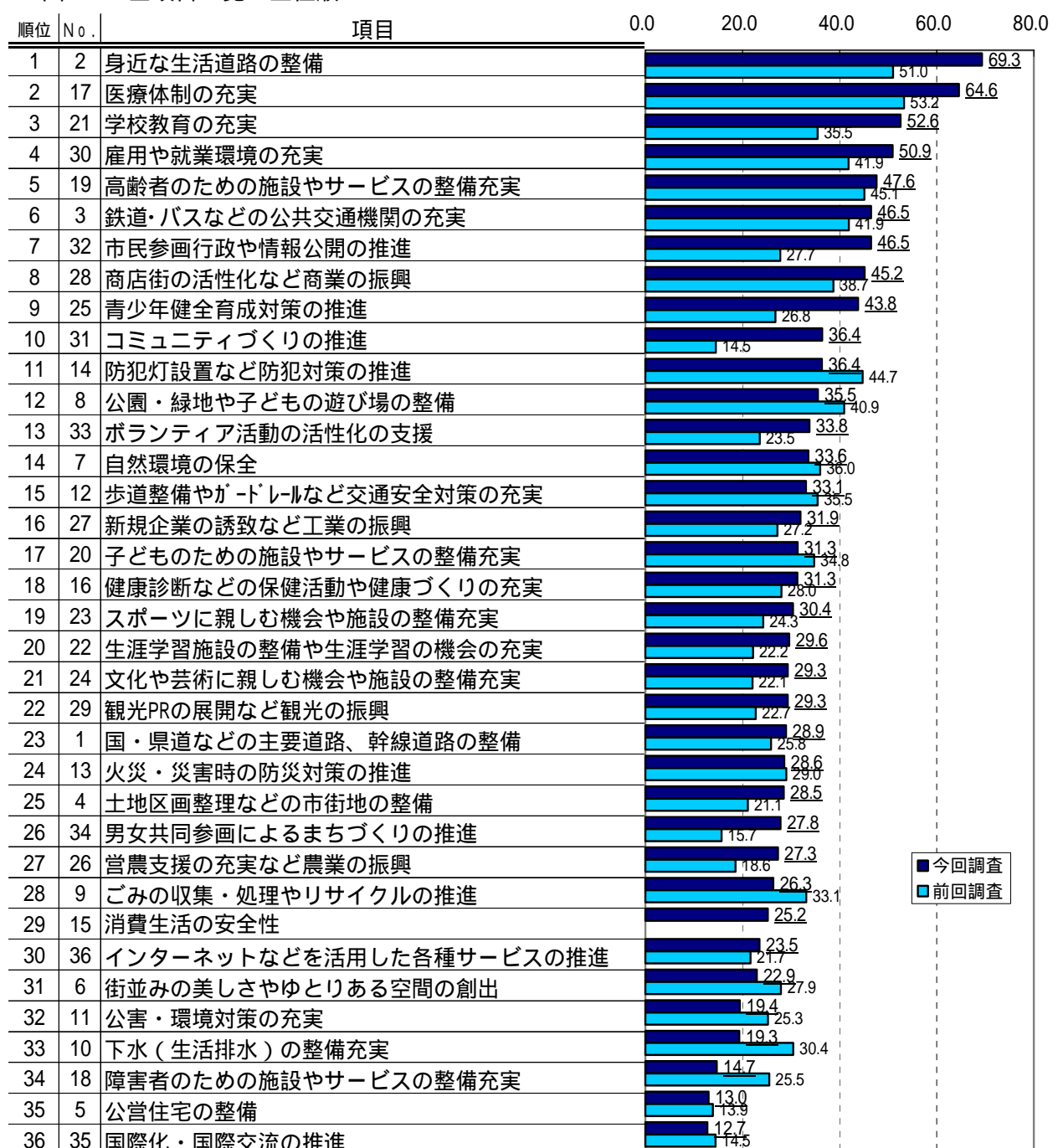
身近な生活道路の整備、医療体制の充実が新市で重視すべき施策

本市で重視すべき施策については、「身近な生活道路の整備」及び「医療体制の充実」が多くなっています。

前回調査と比較すると、上位2項目の順位が入れ代わり、「学校教育の充実」が11位から3位に上がっています。

地区別に見ると、渋川市地区、小野上地区、子持地区、赤城地区、北橘地区で、全体と同様「身近な生活道路の整備」及び「医療体制の充実」が多く、伊香保地区で「身近な生活道路の整備」「高齢者のための施設やサービスの整備充実」が多くなっています。

図7-1 全項目一覧 上位順



前回調査と上位5項目を比較すると、「医療体制の充実」「身近な生活道路の整備」「高齢者のための施設やサービスの整備充実」が同様に多くなっており、「学校教育の充実」と「雇用や就業環境の充実」が新たに多くなっています。

また、最も順位が上がった項目は「コミュニティづくりの推進」で、33位から10位となっています。

表 7-2 全項目一覧 上位順

番号	項目	今回調査 (698件)			前回調査 (1,624件)		
		順位 推移	回答数 (件)	割合 (%)	順位	回答数 (件)	割合 (%)
2	身近な生活道路の整備	1	1,094	69.3	2	1,644	51.0
17	医療体制の充実	2	1,020	64.6	1	1,716	53.2
21	学校教育の充実	3	830	52.6	11	1,144	35.5
30	雇用や就業環境の充実	4	804	50.9	6	1,349	41.9
19	高齢者のための施設やサービスの整備充実	5	752	47.6	3	1,453	45.1
3	鉄道・バスなどの公共交通機関の充実	6	734	46.5	5	1,351	41.9
32	市民参画行政や情報公開の推進	7	734	46.5	18	894	27.7
28	商店街の活性化など商業の振興	8	713	45.2	8	1,248	38.7
25	青少年健全育成対策の推進	9	692	43.8	20	864	26.8
31	コミュニティづくりの推進	10	575	36.4	33	467	14.5
14	防犯灯設置など防犯対策の推進	11	574	36.4	4	1,442	44.7
8	公園・緑地や子どもの遊び場の整備	12	561	35.5	7	1,319	40.9
33	ボランティア活動の活性化の支援	13	533	33.8	25	759	23.5
7	自然環境の保全	14	530	33.6	9	1,160	36.0
12	歩道整備やガードレールなど交通安全対策の充実	15	522	33.1	10	1,144	35.5
27	新規企業の誘致など工業の振興	16	504	31.9	19	877	27.2
20	子どものための施設やサービスの整備充実	17	495	31.3	12	1,120	34.8
16	健康診断などの保健活動や健康づくりの充実	18	494	31.3	16	903	28.0
23	スポーツに親しむ機会や施設の整備充実	19	480	30.4	24	782	24.3
22	生涯学習施設の整備や生涯学習の機会の充実	20	468	29.6	27	715	22.2
29	観光PRの展開など観光の振興	21	463	29.3	26	732	22.7
24	文化や芸術に親しむ機会や施設の整備充実	22	463	29.3	28	711	22.1
1	国・県道などの主要道路、幹線道路の整備	23	457	28.9	21	833	25.8
13	火災・災害時の防災対策の推進	24	451	28.6	15	934	29.0
4	土地区画整理などの市街地の整備	25	450	28.5	30	679	21.1
34	男女共同参画によるまちづくりの推進	26	439	27.8	32	505	15.7
26	営農支援の充実など農業の振興	27	431	27.3	31	599	18.6
9	ごみの収集・処理やリサイクルの推進	28	416	26.3	13	1,067	33.1
15	消費生活の安全性	29	398	25.2			
36	インターネットなどを活用した各種サービスの推進	30	371	23.5	29	698	21.7
6	街並みの美しさやゆとりある空間の創出	31	362	22.9	17	900	27.9
11	公害・環境対策の充実	32	307	19.4	23	814	25.3
10	下水(生活排水)の整備充実	33	305	19.3	14	981	30.4
18	障害者のための施設やサービスの整備充実	34	232	14.7	22	822	25.5
5	公営住宅の整備	35	205	13.0	35	447	13.9
35	国際化・国際交流の推進	36	201	12.7	34	466	14.5

各施策の重要・満足のカロス評価

各施策について、それぞれ重要な施策であるが現状にはやや不満という評価

重要・満足を点数化して評価すると、「道路・公共交通機関など」「健康・福祉」分野については、重要の評価にはばらつきがみられますが、全体的に現状に対しては「やや不満」との評価になっています。また、「自然環境・生活環境」「教育・文化・スポーツ」「産業」「コミュニティ」分野については、全体的に「やや重要」な施策であるが現状に対しては「やや不満」との評価になっています。

前回調査と比較すると、「道路・公共交通機関など」「教育・文化・スポーツ」「産業」「コミュニティ」分野で、全体的に重要ポイントが上昇しています。

【算出方法】

調査の結果を分かり易く表現するため、満足評価において加重平均による点数化を行っています。各項目の選択肢のうち、「満足」に+2点、「やや満足」に+1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点、「どちらともいえない」に0点を便宜的に与え、回答構成から1つの数値を求めるもので、実際の計算方法は以下の通りです。満足ポイントは、「-2.00（不満）」から「2.00（満足）」の間の値で表され、「0.00」が普通との評価になります。

- A … 「満足」の回答者数
 B … 「やや満足」の回答者数
 C … 「普通」「無回答」の回答者数
 D … 「やや不満」の回答者数
 E … 「不満」の回答者数

$$\text{満足ポイント} = \frac{2 \times A + 1 \times B + 0 \times C + (-1) \times D + (-2) \times E}{A + B + C + D + E}$$

また、同様に重要評価においても点数化を行っています。

各項目の選択肢を選んだ場合に+1点、選ばなかった場合に0点を便宜的に与え、数値を求めるもので、実際の計算方法は、以下の通りです。重要ポイントは、「0.00」から「1.00」の間の値で表され、数値が大きいほど、重要との評価になります。

- a … 「選択肢を選んだ」回答者数
 b … 「選択肢を選ばなかった」回答者数

$$\text{重要ポイント} = \frac{1 \times a + 0 \times b}{a + b}$$

施策の満足度・重要評価グラフの見方について (概念図) 重要ポイント (高い)

縦軸は重要ポイントを示しており、上に行くほど重要との評価が高いことを表します。横軸は満足ポイントを示しており、左に行くほど不満、右に行くほど満足との評価になっていることを表します。

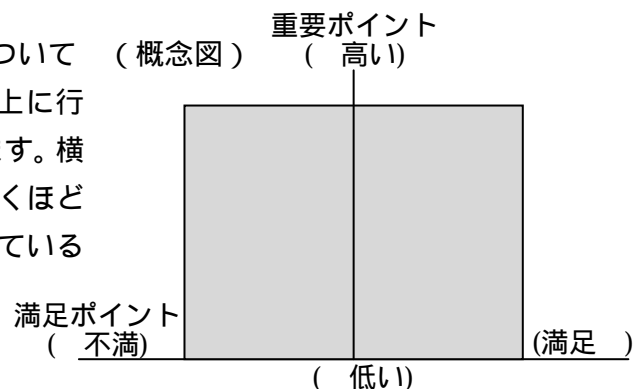


表 7-3 満足ポイント・重要ポイント一覧

	今回調査		前回調査	
	満足ポイント	重要ポイント	満足ポイント	重要ポイント
道路・公共交通機関など				
1 国・県道などの主要道路・幹線道路の整備状況	0.07	0.29	0.04	0.26
2 身近な生活道路の整備状況	-0.29	0.69	-0.25	0.51
3 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性	-0.55	0.46	-0.52	0.42
4 中心市街地の整備状況	-0.43	0.28	-0.33	0.21
5 公営住宅の整備状況	-0.17	0.13	-0.24	0.14
自然環境・生活環境				
6 街並みの美しさやゆとりある空間	-0.16	0.23	-0.08	0.28
7 川の水質や景観	-0.16	0.34	-0.09	0.36
8 公園・緑地や子どもの遊び場の整備状況	-0.38	0.36	-0.33	0.41
9 ごみの収集・処理やりサイクル	0.17	0.26	0.14	0.33
10 下水(生活排水)の処理状況	0.01	0.19	0.00	0.30
11 騒音、振動、悪臭などの公害環境対策	-0.17	0.19	-0.15	0.25
12 歩道整備やガードレールなどの交通安全対策	-0.33	0.33	-0.32	0.35
13 火災や災害からの安全性	-0.16	0.29	-0.07	0.29
14 防犯灯設置などの防犯対策	-0.40	0.36	-0.48	0.45
15 消費生活の安全性	-0.16	0.25	-	-
健康・福祉				
16 健康診断などの保健活動や健康づくり	0.15	0.31	0.27	0.28
17 医療施設の数や夜間・休日などの救急医療体制	-0.45	0.65	-0.37	0.53
18 障害者のための施設やサービス	-0.26	0.15	-0.22	0.26
19 高齢者のための施設やサービス	-0.27	0.48	-0.19	0.45
20 子どものための施設やサービス	-0.39	0.31	-0.38	0.35
教育・文化・スポーツ				
21 幼稚園、小・中学校の施設	0.01	0.53	0.06	0.35
22 生涯学習施設や生涯学習講座への参加機会	-0.10	0.30	-0.07	0.22
23 スポーツに親しむ機会や施設	-0.10	0.30	-0.07	0.24
24 文化や芸術に親しむ機会や施設	-0.14	0.29	-0.13	0.22
25 青少年の健全育成への取り組み	-0.16	0.44	-0.16	0.27
産業				
26 営農支援の充実など農業の振興	-0.20	0.27	-0.15	0.19
27 新規企業の誘致など工業の振興	-0.44	0.32	-0.46	0.27
28 商店街の活性化など商業の振興	-0.63	0.45	-0.67	0.39
29 観光PRの展開など観光の振興	-0.40	0.29	-0.44	0.23
30 雇用や就業環境	-0.55	0.51	-0.68	0.42
コミュニティなど				
31 コミュニティ施設の整備状況や活動支援への取り組み	-0.20	0.36	-0.17	0.14
32 市民参加の行政や情報公開への取り組み	-0.22	0.46	-0.20	0.28
33 ボランティア活動などへの参加機会	-0.13	0.34	-0.14	0.24
34 男女共同参画によるまちづくりへの取り組み	-0.20	0.28	-0.22	0.16
35 国際化・国際交流への取り組み	-0.22	0.13	-0.28	0.14
36 インターネットなどを活用した各種サービスへの取り組み	-0.28	0.23	-0.32	0.22

図 7-4 道路・公共交通機関など

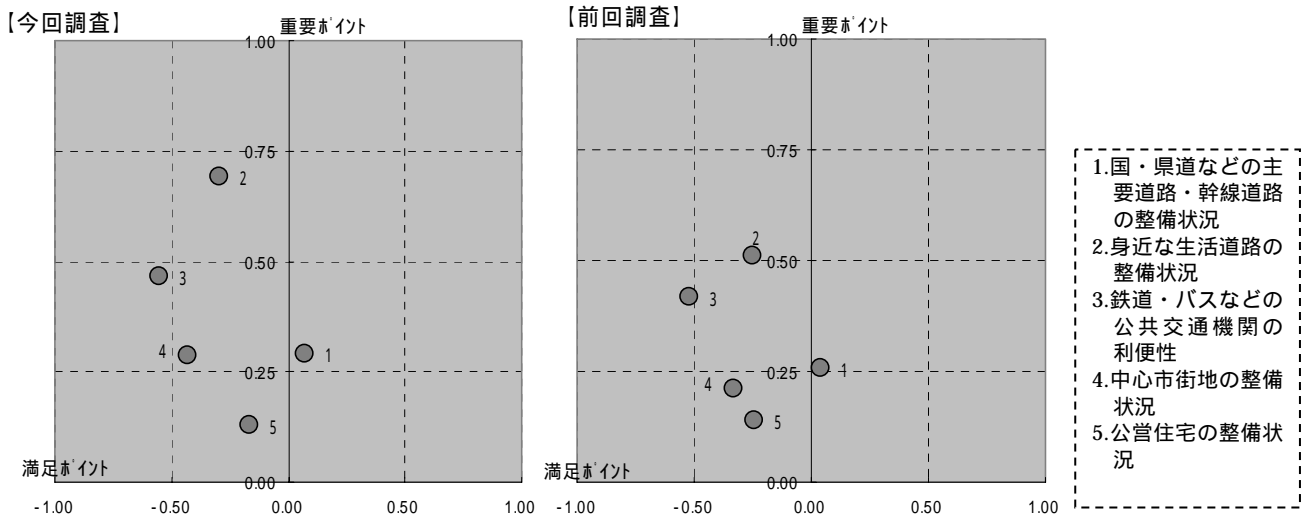


図 7-5 自然環境・生活環境

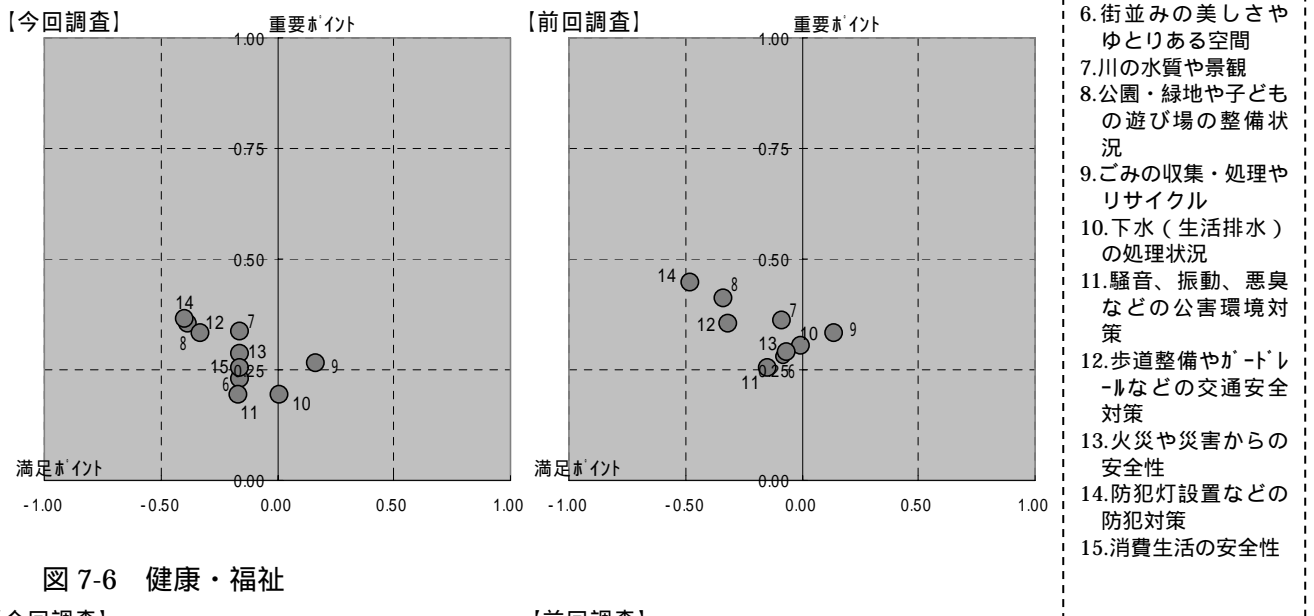


図 7-6 健康・福祉

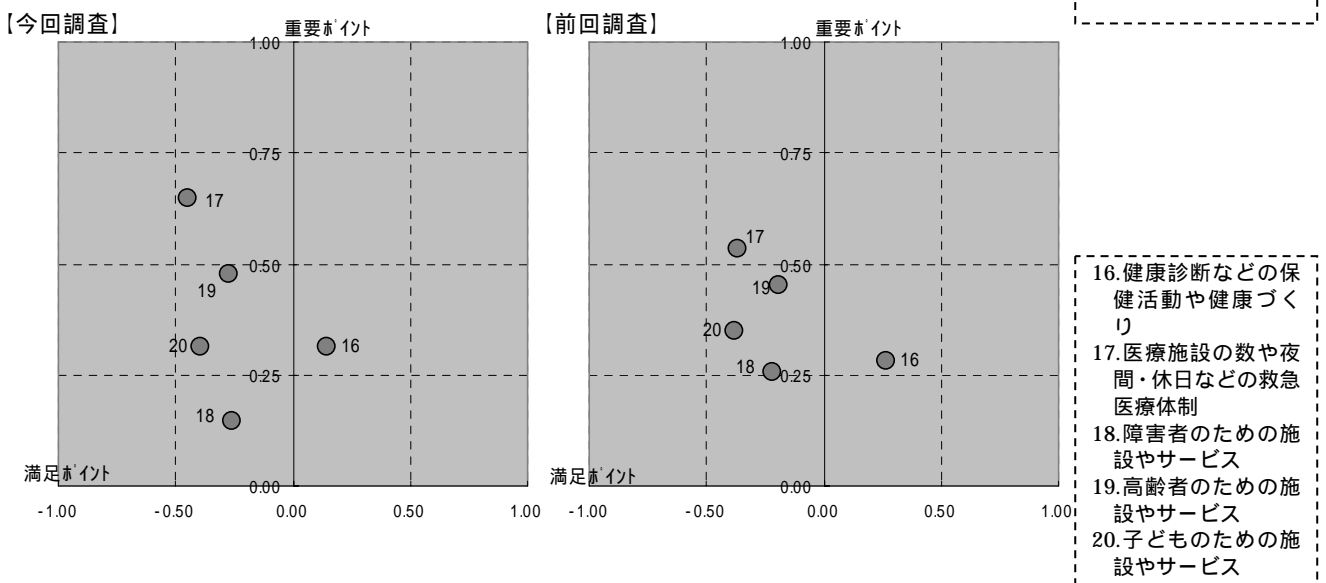


図 7-7 教育・文化・スポーツ

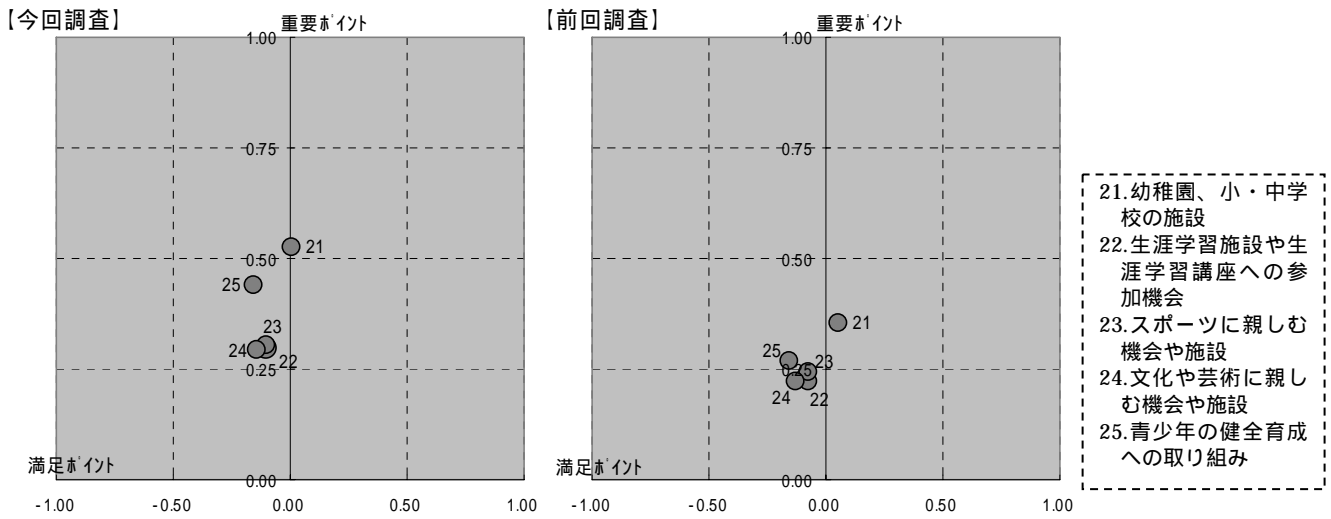


図 7-8 産業

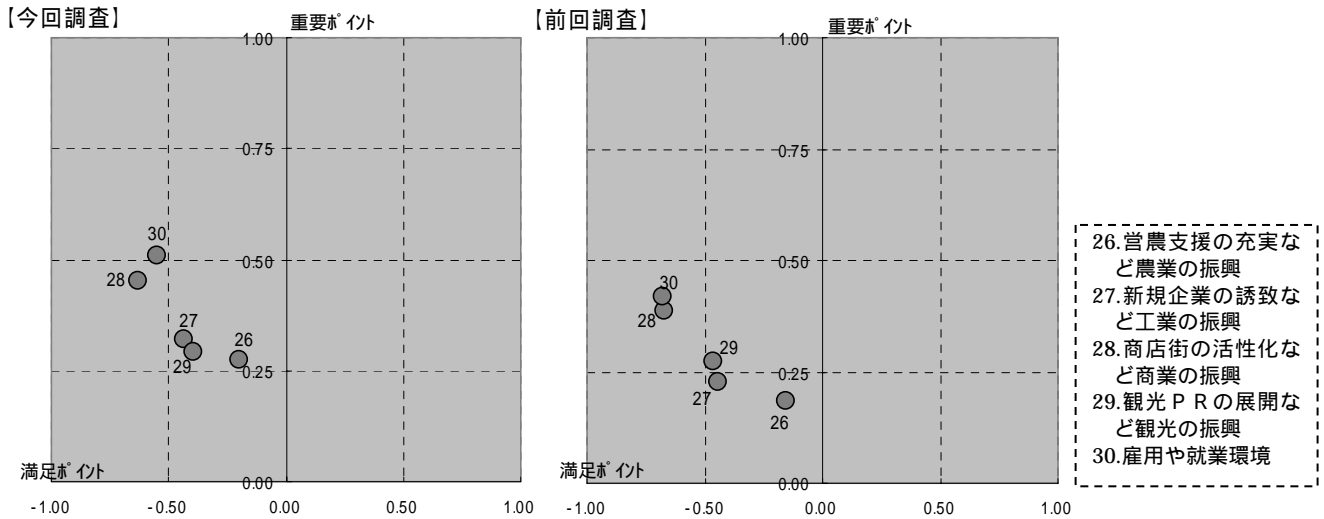
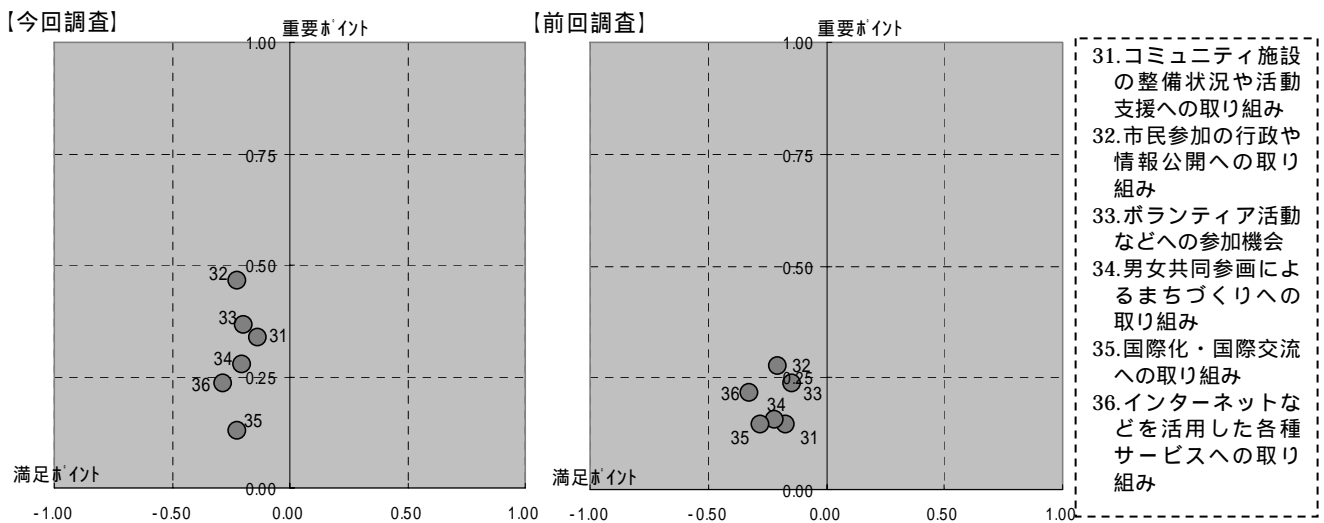


図 7-9 コミュニティ



市政への関心について

市政について各地区とも関心高く、将来のまちづくり等の情報が求められている

市政への関心については、いずれの地区も“関心がある”(「まあまあ関心がある」「非常に関心がある」の合計)が70%を超えており、関心が高くなっています。

現在知りたい内容については、「将来のまちづくり」がいずれの地区でも上位2位以内となっています。

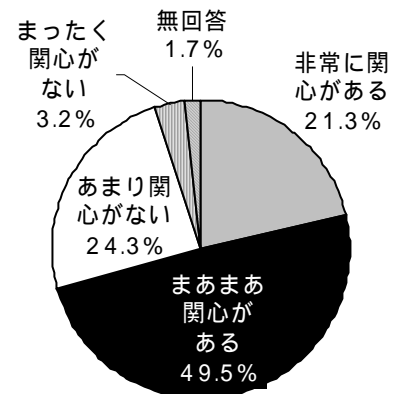
また、市政への要望について意見があったときには、小野上地区で「身近な市役所職員に話しをする」が最も多く、その他の5地区においては「各種相談窓口を利用する」が最も多くなっています。

《市政への関心》

市政への関心については、「まあまあ関心がある」が最も多く49.5%となっており、「非常に関心がある」21.3%と合計し、“関心がある”が過半数(70.6%)となっています。

いずれの地区も「まあまあ関心がある」が最も多く、「非常に関心がある」を含め“関心がある”の割合が多くなっています。

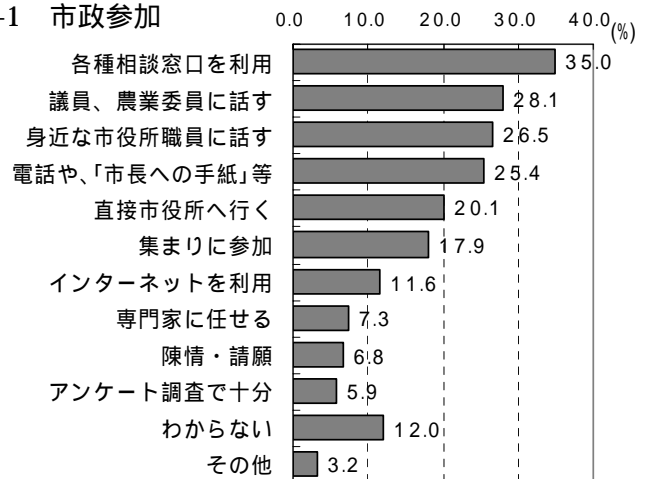
図 8-1 市政への関心



《市政参加》

市政について意見や要望があったときにとる方法としては、「各種相談窓口を利用する」が最も多く35.0%、次いで「市議会議員、農業委員に話しを持っていく」が28.1%となっています。

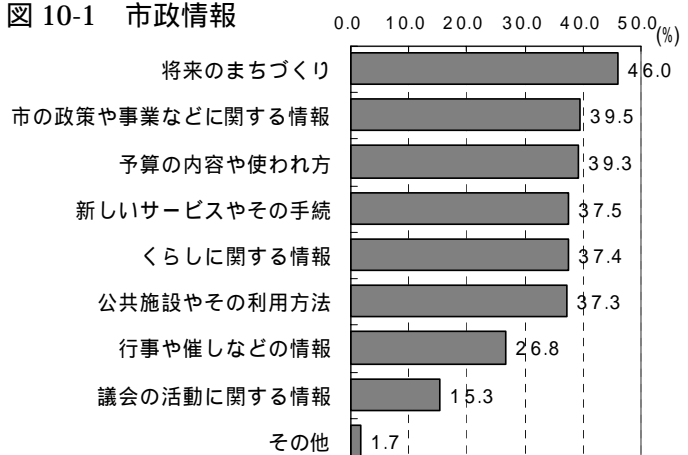
図 9-1 市政参加



《市政情報》

「将来のまちづくり」が最も多く46.0%、次いで「市の政策や事業などに関する情報」が39.5%となっています。

図 10-1 市政情報



渋川市の将来像について

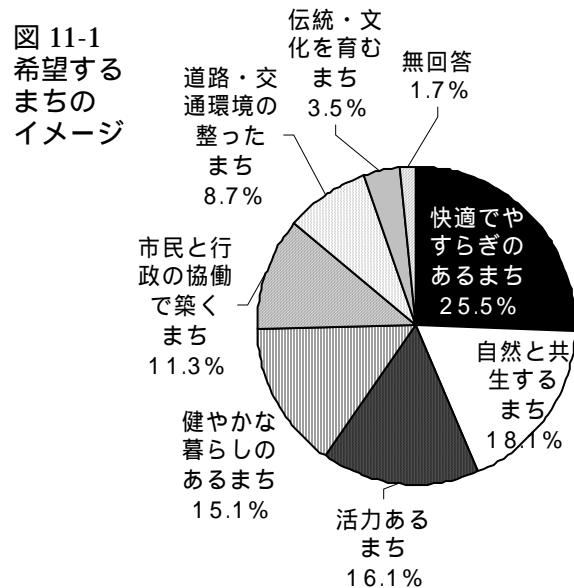
目指すイメージは「快適でやすらぎのあるまち」、キーワードは「安全・安心」が多い

今後、渋川市がどのようなイメージのまちとして発展したらよいと思うかについては、小野上地区で「市民と行政の協働で築くまち」が最も多く、その他の5地区では「快適でやすらぎのあるまち」が最も多くなっています。

また、新市まちづくりのキーワードとしては、「安全・安心」「健康・福祉」が多く、地区別にみても、渋川地区、小野上地区、子持地区及び赤城地区で「安全・安心」が、伊香保地区及び北橘地区で「健康・福祉」が最も多くなっています。

《希望するまちのイメージ》

「快適でやすらぎのあるまち」が最も多く25.5%、次いで「自然と共生するまち」が18.1%となっています。



《新市の将来に期待するキーワード》

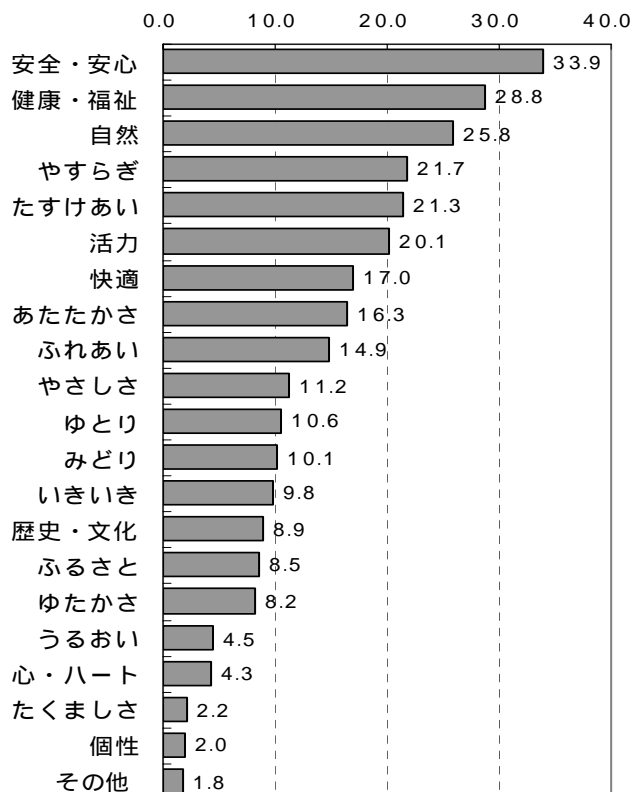
新市まちづくりのキーワードとしては、「安全・安心」が最も多く33.9%、次いで「健康・福祉」28.8%となっています。

前回調査と比較すると「安全・安心」が増加しています。

前回調査とは、一部選択肢項目が異なります。

例：前回調査「福祉」「健康」
今回調査「健康・福祉」

図 12-1 新市の将来に期待するキーワード



自由意見について

「自然環境・生活環境」「市政運営・議会など」についての意見が多い

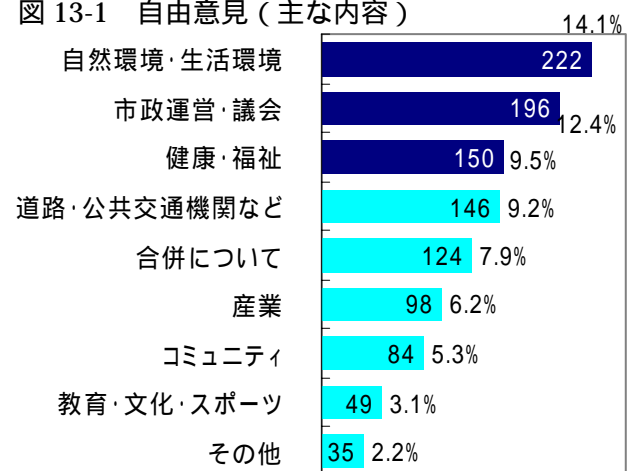
回答者の43.5%にあたる687人(1,104件)の記入がありました。

寄せられた意見の分野は「自然環境・生活環境」が222件で最も多く、次いで「市政運営・議会など(196件)」、「健康・福祉(150件)」、「道路・公共交通機関など(146件)」、「合併について(124件)」となっています。

地区別にみると、渋川地区、北橘地区では「自然環境・生活環境」に関する意見が、伊香保地区では「産業」に関する意見、小野上地区では「健康・福祉」、子持地区で「市政運営・議会」、赤城地区で「合併について」が最も多くなっています。

各分野の主な内容は、「自然環境・生活環境」については、子どもの遊び場の整備状況、歩道の整備、防犯対策、交通安全対策など、「市政運営・議会など」については、行政サービス、行財政運営、税制、議会・議員、職員の対応、市長への意見、総合計画そのものについての意見、「健康・福祉」については、子育て支援、少子高齢化対策、障害者のための施策、医療施設・救急医療体制などについての意見があげられています。

図 13-1 自由意見(主な内容)



全回答者数に対する割合

表 13-1 自由意見(主な内容)

分野	件数	主な内容
記入件数	1,104	
自然環境・生活環境	222	子どもの遊び場の整備状況、歩道の整備、防犯対策、交通安全対策 など
市政運営・議会	196	行政サービス、行財政運営、税制、議会・議員、職員の対応、市長への意見、総合計画 など
健康・福祉	150	子育て支援、少子高齢化対策、障害者のための施策、医療施設・救急医療体制 など
道路・公共交通機関など	146	主要道路・幹線道路の整備、身近な生活道路の整備、バスなどの公共交通機関、公営住宅の整備 など
合併について	124	住居表示、サービスの低下、合併の賛否、更なる合併について など
産業	98	農業の振興、企業誘致、商店街の活性化、商業振興、観光振興、雇用・就業対策 など
コミュニティ	84	ボランティア活動、地域コミュニティ、コミュニティ施設、男女共同参画、市民参加 祭・イベント など
教育・文化・スポーツ	49	義務教育、生涯学習、文化・芸術施設、青少年の健全育成、スポーツ振興 など
その他	35	アンケートについて など

1人の回答者の方が、複数の分野にまたがった意見を記入されている場合もあります。